

加工・業務向け野菜品種の紹介

—レタス編—

●バリエーション豊富な形態特性を活かした差別化

レタスは生食用としての需要が高く、外食・中食産業にとって重要な食材である。農産物商品開発室では、国内の加工・業務向けレタス品種について情報収集することを目的に、種苗会社に対してアンケート調査を実施した。ここでは、レタスの生産動向などを概説するとともに、アンケート結果を取りまとめ、加工・業務向けレタス品種について紹介する。

レタスの加工・業務向けを考えるにあたって

●国内生産動向と輸入割合について

レタスは、平成18年の国内作付面積が21,200ha、生産量が548,900tであり、全国の生産地別出荷割合は図-1のとおりである。日平均温度の積算が1,700℃～2,500℃で抽だいを始めるため、それ以前に収穫しなければならない。このため、国内では季節によって産地が移るリレー出荷体制が確立している。例えば、夏は高冷地の長野・岩手、秋から冬は茨城・香川、冬は静岡、春から夏は茨城・香川となっている。

国産の不足する時期には3,000～8,000tが輸入されており(図-2)、輸入全体の85%をアメリカが占めている。国内消費のほとんどが生食であるため、空輸によっ

て鮮度を保持する必要があるため、国産よりも高い価格で取引されることもある。

このように、レタスは鮮度保持が重要であり、国内におけるリレー出荷体制が整っていることから、輸入への依存が低い傾向にある。

●バリエーション豊富に5つの形態

一般的に「レタス」というと、玉型をイメージするが、形態のバリエーションは豊富で大きく5つに分けられる(表-1)。具体的には、結球するものや非結球のもの、葉のほかに茎を食べるものなどがあり、葉菜類のなかでも特にバリエーションに富んでいる。

種苗会社へのアンケート調査

種苗会社に対して、加工・業務向けレタス品種のアンケートを実施した。質問項目は①品種名②早晩性③適地

表-1 レタスの形態による分類

分類	特徴
玉	一般的な結球性を持つ
リーフ	結球性はなく、葉数が多く欠刻(切れ込み)やしわも多い
サラダナ	結球のしまりが柔らかい
ロメイン(コス)	葉が立性で長く、へら型をしている
ステム	茎が伸長し葉は細長円型で、葉も茎も食べられる

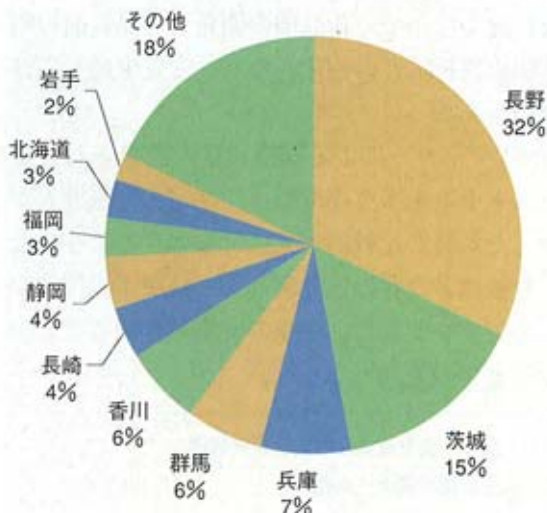


図-1 レタスの生産地別出荷割合 (平成18年)
(農林水産省大臣官房統計部「平成18年産 野菜生産出荷統計」より作成)



図-2 レタス類の輸入量と輸入価格の推移
(財務省「日本貿易月表：通関統計」より作成)

①作型⑤紹理由とし、15社から回答を得た。紹介いただいた品種については、形態別に分類し、表-2~5に示した。ここでは、形態別に加工・業務向けのポイントを整理し、特徴のある品種について紹介する。

玉レタス (表-2)

15品種 (極早生：1品種、早生：8品種、中早生：4品種、中生：2品種) の紹介があり、5つの形態のなかで最も多かった。

玉レタスでは、多くの種苗会社が「食感」を重視していた。これは、レタスが主に生食用の食材であることから、その評価として清涼感を強調した「シャキシャキ感」を重視するためと考えられる。このほか、在圃性や球肥大性を重視する傾向がみられた。これらの特性は、大玉での出荷が可能となり、収量増加や歩留まり向上を目的としたものと考えられる。また、褐変しにくいという品種もあり、これは加工・業務向けでは商品の見栄えを損なわないために重要な特性である。

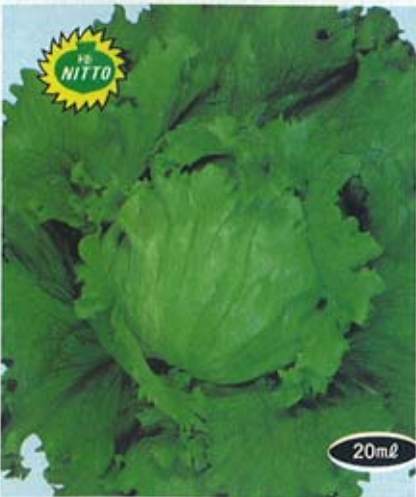
品種では、「コロラド」(渡辺採種場) は玉伸びが良好で葉肉も厚い、「サンバレー」(カネコ種苗) は気温下降期でも2L~3L率が高く、外葉が多く球を保護するの

表-2 玉レタス

品種名	早晚性	適地	作型	会社名
コロラド	極早	平坦地	春どり (ハウス・露地)	渡辺採種場
からさわ	早	高冷地 平坦地	秋どり	日東農産種苗
サウザー	早	冷涼地 平坦地 暖地	夏秋どり 秋どり	タキイ種苗
スターレイ	早	冷涼地 平坦地 暖地	春どり 初冬どり	タキイ種苗
あさひな	早	平坦地 暖地	春どり	日東農産種苗
フレッシュワールド	早	平坦地 暖地	春どり	日東農産種苗
トリガー	早	平坦地	冬春どり	カネコ種苗
グリーンレク2861	早	各地	秋冬どり 春夏どり	渡辺農事
エステス	早	各地	春、秋どり	渡辺農事
マリア	中早	平坦地 暖地	初冬どり	タキイ種苗
サンバレー	中早	高冷地 平坦地	夏秋どり 初夏、秋どり	カネコ種苗
Jレタス	中早	高冷地 平坦地	春初夏どり	カネコ種苗
カーチス	中早	各地	夏秋どり	渡辺農事
レガシー	中	暖地	冬どり	タキイ種苗
ニューサリナス2号	中	平坦地	冬どり(ハウス・露地)	渡辺採種場



▲コロラド (渡辺採種場)



▲フレッシュワールド (日東農産種苗)



▲サンバレー (カネコ種苗)



▲レガシー (タキイ種苗)

で障害に強い、「ニューサリナス2号」(渡辺採種場) は尻色が美しく歩留まりがよく褐変しにくい、と紹介されていた。

リーフレタス (表-3)

リーフレタスでは13品種 (早生：5品種、中早生：3品種、中生：4品種、晩生：1品種) の紹介があった。作型は、玉レタスと比較して周年栽培が可能な品種が多い傾向にあった。

リーフレタスも、玉レタスと同様に「食感」や「在圃性・晩抽性」が重視される傾向にあった。玉レタスと異なる特徴として、色 (アントシアン：紫色) による差別化があげられていた。これは、サラダにおいて、色彩が

表-3 リーフレタス

品種名	早晚性	適地	作型	会社名
バリグリーン	早	高冷地 平坦地	夏秋どり	丸種
アフロ	早	各地	春夏どり	渡辺農事
マザーレッド	早	高冷地 平坦地 暖地	春どり 秋どり	タキイ種苗
マザーグリーン	早	高冷地 平坦地 暖地	春どり 秋どり	タキイ種苗
晩抽サンレッド	早	高冷地 平坦地 暖地	春秋どり	ナント種苗
グリーンスパン	中早	高冷地 平坦地 暖地	平坦地・暖地: 5月~6月まき 以外に適す	カネコ種苗
夏穫りサンレッド	中早	平坦地 暖地	春秋どり	ナント種苗
リバーグリーン	中早	高冷地 平坦地 暖地	春夏どり 秋冬どり	サカタのタネ
美味タス	中	高冷地 平坦地 暖地	周年	トキタ種苗
ブラックローズ	中	高冷地 平坦地 暖地	周年	カネコ種苗
ハンサムグリーン	中	全般	夏秋どり	横浜植木
カットマン	中	高冷地	春夏どり	朝日工業
フリルアイス	やや晩	高冷地 平坦地 暖地	春夏まき 秋冬まき	雪印種苗

表-4 サラダナ

品種名	早晚性	適地	作型	会社名
エルーゴ	早	高冷地 平坦地	春どり 冬どり	自然農法国際 研究開発センター
バターレタス	中~晩	各地	春どり 夏どり	藤田種子



▲エルーゴ (自然農法国際研究開発センター)

重視されることから、リーフレタスのポイントといえる。このほか、歩留まり性を重視した品種も紹介された。

品種では、「バリグリーン」(丸種)はリーフレタスでありながら、玉レタスのような歯ごたえとシャキシャキ感がある、「美味タス」(トキタ種苗)は外葉と内葉で食感の異なる半結球タイプで晩抽性・耐暑性がある、「フリルアイス」(雪印種苗)は内部まで葉の大きさが揃いやすく歩留まりがよい、「夏穫りサンレッド」(ナント種苗)は高温下でもアントシアン(紫色)が鮮明である、と紹介されていた。

サラダナ (表-4)

2品種の紹介があり、早生1品種と、中生~晩生1品種であった。サラダナでは、料理の飾りとして用いることが多く、見栄えや色がポイントと考えられる。ここでも、玉レタスと同様に「食感」や「晩抽性」が



▲バリグリーン (丸種)



▲美味タス (トキタ種苗)



▲夏穫りサンレッド (ナント種苗)



▲カットマン (朝日工業)



▲フリルアイス (雪印種苗)

重視されていた。

品種では、「エルゴ」(自然農法国際研究開発センター)が緑色でクセがない晩抽性、「バターレタス」(藤田種子)は厚肉葉で歯切れや見栄えがよく、耐暑性があると紹介されていた。

ロメインレタス (表-5)

ロメインレタスでは5品種(早生:1品種、中生:3品種、晩生:1品種)の紹介があった。ロメインレタスも、玉レタスと同様に「食感」が重要な要素とされていた。このほか、「甘味が強い」や「加熱処理でも変色しにくい」がポイントとしてあげられていた。これらの特性は、ロメインレタス特有と考えられ、新たな料理用途拡大を図ることが可能と考えられる。

品種では、「エバンス」(渡辺農事)は葉肉が厚く加熱処理でも変色しにくい、「スブラッシュ」(横浜植木)は形状の安定感が高く、甘味も強い、「フレンディー」(武

蔵野種苗園)は、葉の色が鮮緑でつやがある、と紹介されており、玉レタスと異なる特性として興味深い。

産地で取り組むにあたって

加工・業務向けとして重要なことは、安定供給・品質の均一化である。しかし、レタスは栽培上、単一の産地で周年供給することはできない。このため、全国的な産地リレー出荷に適応することがポイントである。

また、産地にとっても、適切な作型で栽培することは、安定生産と品質向上へとつながる。このほか、産地内でも早晚性に幅を持たせ、長期間の出荷体制を組むことで、天候によるリスクを分散することも重要と考えられる。

形態的な特性の違いを活用した差別化

国内では、レタスは生食中心であることから、食感による清涼感が重視される傾向にある。これはレタスが味にクセがなく、味覚による差別化が図りにくいいためと考えられる。このため、加工・業務向けでは「食感」以外の品質面での魅力が薄かった。

しかし、先述のとおり、レタスには形態のバリエーションが豊富であり、形態ごとに特性を活かすことで新たな加工・業務向けニーズを探索することが可能である。例えば、リーフレタスでは「色」による差別化により、生食(サラダ)での新たなニーズも生まれる。一方で、加熱適性のあるロメインレタスでは、炒め物などの生食以外の食べ方を提案することもできる。

このように、レタスは加工・業務向けニーズに合わせて、形態ごとの特性を活かした生産を図ることが重要である。

【全農 営農・技術センター 農産物商品開発室・村岡賢一, 山田圭太】

表-5 ロメインレタス

品種名	早晩性	適地	作型	会社名
エバンス	早	各地	秋冬どり 春どり	渡辺農事
コスタリカ4号	中	高冷地	春どり 秋冬どり	サカタのタネ
スブラッシュ	中	各地	夏秋どり	横浜植木
コスタリカ2号	中	平坦地	秋どり	サカタのタネ
フレンディー	晩	平坦地 暖地	秋どり 春どり	武蔵野種苗園



▲エバンス (渡辺農事)



▲スブラッシュ (横浜植木)



▲フレンディー (武蔵野種苗園)



▲コスタリカ4号 (サカタのタネ)